

地域の活性化

尾花沢地区女性部料理講習会

5/17(火)に尾花沢営農センターで料理教室を開き10名が参加しました。尾花沢市寺内産の小麦を使った「うどん」、尾花沢産そば粉を使用した「揚げかきもち」等を作りました。



農業体験

当JAでは青年部・女性部の協力を得て、子供たちに土とのふれあいから自然や農業の大切さ、食と農のかかわりを学んでもらおうと食育活動に取り組んでいます。

大石田地区女性部 花贈呈

5月下旬に大石田町にある4つの小中学校へサルビアとマリーゴールドの花苗400本を贈呈。



JAまつり

7/2・3の2日間、JAグリーンおばなざわ特設会場・7/2大石田営農センターでJAまつりを開催。両会場ともお楽しみ抽選会や縁日コーナーなども設けられ、尾花沢では「働く車」の展示も行われました。



家の光を活用したセミナー

9/3(土)にJAみちのく村山本店にて「SDGs」をテーマとしたセミナーを開催しました。「SDGs」や「防災」について学んだほか、天然素材のラップづくりをしました。



JAスマホ教室の開催

身近になっているスマホをより快適に使用してもらうことを目的に9/22(木)尾花沢支店と大石田支店の2カ所で開催しました。



JAみちのく村山ふれあいゴルフコンペ

9/6(火)に第26回ふれあいゴルフコンペを村山市のさくらんぼカントリークラブで行いました。参加者196名からの善意183,505円を山新放送愛の事業団に寄託しております。



道の駅ねまるを拠点としたイベントの開催

R4年度集客目標 15万人

| | R4目標(集客数) | 上期実績(集客数) |
|--------------|-----------|-----------|
| 道の駅ねまる施設利用者数 | 150,000人 | 189,710人 |

※R3上期施設利用者数/157,480人 前年同期比/120.5%

《主なイベント》

- ◆4/23~24 「4.22は道の駅の日」 集客数1,038人
- ◆5/3~5 「山菜祭り」 集客数 2,921人
- ◆7/2~4 「大崎市物産展」 集客数 1,296人
- ◆7/21~8/22 「尾花沢すいか販売(すいか村)」 集客数 21,018人



『創造的自己改革』の取り組み紹介

令和4年度上期(4~9月)

当JAは組合員との徹底した対話に基づいて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に取り組んでいます。今年度の上期実績を中心に紹介し、今後も地域に根ざしたJAであり続けるため、組合員との対話を通じ総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点目標

①山形牛普及のための牛肉消費拡大運動 目標値 1,000万円

| | R4目標(万円) | 上期実績(万円) |
|----------|----------|---------------|
| 牛肉消費拡大運動 | 1,000 | 1,560 |
| | | 【内訳】 |
| | | 特販センター 360 |
| | | 産直館はいつと 1,200 |

※特販センターでは、県・市・町やJA関連会社を中心に消費拡大運動を実施。
※産直館はいつとでは、県内外へのYouTube広告や月1度の牛肉消費拡大セールを実施



②山形牛普及のためネット販売の強化 目標値 5,000万円

| | R4目標(万円) | 上期実績(万円) |
|------------|----------|-------------|
| 牛肉のネット販売強化 | 5,000 | 943 |
| | | 【内訳】 |
| | | 特販センター 300 |
| | | 産直館はいつと 590 |
| | | 大石田 53 |

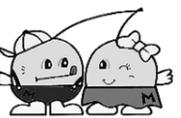
※ネット販売は「ふるさと納税」が主となるため、年末商戦に向けラインナップの充実を図っています。



③ギフト市場の拡大・ふるさと納税の付加価値販売 目標値 9,000件

| | R4目標(件) | 上期実績(件) |
|-------------------|---------|----------------|
| ギフト市場・ふるさと納税販売の拡大 | 9,000 | 101,541 |
| | | 【内訳】 |
| | | 特販センター 61,738 |
| | | 産直館はいつと 29,803 |
| | | 大石田 10,000 |

※当JAの特産品である「さくらんぼ」「すいか」「山形牛」「お米」といった農産物の受注数量が年々、伸びています。



重点目標 地域の多様な担い手への営農相談の充実(対象者：担い手経営体や中核的担い手)

目標値 2回 ⇒ 上期1回

営農指導員の知識向上のため各種研修会への参加・作物毎の現地講習会を実施しスキルアップにつとめ、関係機関と連携し支援体制の充実を図り、次世代の担い手支援につとめております。